

令和4年度 木の実幼稚園 自己評価結果公表シート

学校法人 今川学園 理事長

木の実幼稚園 園長 今川公平

○本園の教育目標

1. 生活指導上の基本目標
 - ・ あいさつが出来る ・ 感謝の気持ちが持てる ・ けじめがつけられる ・ 自分のことは自分で出来る
 - ・ 友達のことを思いやる事が出来る
2. 表現活動を通して、豊かな「感性」と「心」を育てる。
 - 造形、音楽、言葉による表現活動を通して、感じたことを素直に表現し、喜ぶ心を育てる。
3. 自分で考え、行動できる子どもを育てる。
 - いろいろな事柄、事象に興味を持ち、「何故」「どうして」「どうなるだろう」と考えられる力を育てる。
4. 友達と積極的に遊び、いろいろな遊びが工夫できる子に育てる。
5. いろいろな遊びを通して、健康な心身を育てる。

A. 令和3年度に取り組んだ事業の評価項目

| 項目 | 内容 |
|----|---------------------------------------|
| 1 | 新型コロナウイルス感染症予防対策に基づいた諸行事の再構築 |
| 2 | 園舎東棟一階改修工事の実施、新ホール建設案の決定、保育室内の什器備品の更新 |
| 3 | 木の実幼稚園の独自のアートとプロジェクトアプローチ型保育の実践の発信 |
| 4 | 教職員の処遇改善および特別支援教員・保育支援教員の研修の充実 |

B, 評価項目の設定理由

| 項目 | 内容 |
|----|--|
| 1 | <p>令和3年度は、新しいウィルス株の発生と広がりにより、新しい医学的知見に基づいた園としての対策が必要である。また、前年度の経験を基に、ウィズ・コロナの中での諸行事のあり方・内容を再構築したい。</p> |
| 2 | <p>より質の高い幼児教育の実現には、1クラスの定員を出来るだけ少人数にする必要がある。3歳児クラスから5歳児クラスまで、全て25名以下に設定すると保育室が不足する為、保育室を1室増築する必要がある。また、現在のホールの老朽化に伴い、3年前に策定した新ホール基本計画は工費の高騰が続く中で今回基本から見直す事となった。3年度中に新しい基本案を決定しなければならない。</p> <p>また、合わせて保育室内の机や椅子、ロッカー等の備品の順次更新が必要である。</p> |
| 3 | <p>木の実幼稚園のプロジェクト型保育の各クラスでの実践も、今まで園内でドキュメンテーションとして多く蓄積されてきたが、今回、平素から交流のある京都教育大学 佐川早季子准教授および滋賀大学 山本一成准教授の提案を受けて、書籍としてまとめ、保護者だけではなく、子ども主体・対話型の保育へ転換したい幼稚園・こども園・保育園の先生方へ広く情報発信したい。</p> |
| 4 | <p>本園では、質の高い教員こそが良質な教育を保障するとの考えから、毎年教職員の処遇改善に注力してきたが、特に担任教員には手厚い処遇改善が必要であり、新しい給与体系が必要である。</p> <p>また、年々配慮を要する子どもに対するニーズが高まっており、さらに中堅・ベテラン教員が若手教員を支えてチームとして質の高い保育を実現する必要もあり、特別支援および保育支援担当の教員のあり方や研修内容を見直したい。</p> |

C. 評価項目ごとの具体的目標と取り組み

| 項目 | 内容 |
|----|---|
| 1 | <p>新型コロナウイルスの変異株が広がり、感染の波が通年続いたが、園児の感染者数を丁寧に把握しながら、登園自粛や学級閉鎖等の対応を早めに決定し、保護者にも感染状況を常に発信した。子ども達にはマスクや手洗い、うがい等の指導も行ったが、マスクの常時着用は発達上弊害も多く、令和4年度からは園としての新たな方針を作る必要がある。</p> <p>また、参観日、遠足、運動会、音楽会、造形展などの教育行事の実施については、感染対策と共に、いかに子ども目線に立った行事とするか、そのねらいと内容を再検討し、例えば遠足では遠距離バス利用は出来るだけ避け、各クラスの保育の流れに合った場所をいくつか選定し、子どもの経験が以前よりも充実したものとなるよう、様々な工夫を行った。また、年長組の日帰りキャンプも、従来の真夏日・猛暑の中での経験よりも、より落ち着いた時期に実施する方向で検討を開始した。</p> |
| 2 | <p>各クラス25名以下とする為には、保育室は各学年で6クラス体制が必要であり、その前提で1クラス増築を決定し、東棟一階部分を新しいデザインで作り変え、2クラス構造とした。改修工事は4月から開始し、7月に竣工。これで18教室体制が完成した。また新しいデザインに見合う様に、室内は新しい家具・備品を導入した。今後、他のクラスも順次更新していく計画である。</p> <p>さらに、新ホールの基本計画案を令和4年3月までに策定し、令和4年夏までに詳細な図面が完成、入札による業者選定、秋には着工へと進める計画である。</p> |
| 3 | <p>令和3年度中は具体的な内容構成、実践内容の精選等を進めるため、企画会議を開始し、令和4年冬までの作業計画を立案した。令和5年発刊を目標とする。</p> |
| 4 | <p>令和3年度は、給与規定を見直し、新しく「担任手当」を創設、担任業務に見合う給与体系を整備した。また、働き方改革の一環で、正職員以外の様々な働き方を可能にする就業規則の改定を行って、経験のある教職員が自身のライフスタイルに合わせて、その経験を活かして特別支援や保育支援に取り組めるような体制を充実させた。</p> <p>加えて、正職員であるなしに関らず、園内研修・園外研修はすべて同等に受けられ、保育の充実と向上に向けて、共に議論し、実践に結び付ける環境づくりを進めた。</p> |